

3号機使用済燃料プール内大型ガレキ撤去作業の進捗状況について

平成25年12月26日
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

3号機大型瓦礫撤去作業の進捗状況について

- ▶ 3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向け、使用済燃料プール内の大型瓦礫撤去を開始(12/17)。
- ▶ 2月上旬までにFHMに干渉しない鉄筋・デッキプレート^①の撤去を完了予定。
- ▶ 準備作業中に発生した水中カメラの落下については、原因調査、再発防止対策を実施済み。



＜使用済燃料プール内瓦礫撤去作業状況＞

使用済燃料プール内大型瓦礫撤去順序

0. 落下防止対策（ライニング養生）



1. 鉄筋・デッキプレートの撤去（①→②→③）

現在実施中



2. マスト、屋根トラス材の撤去（④、⑤、⑥、⑦）



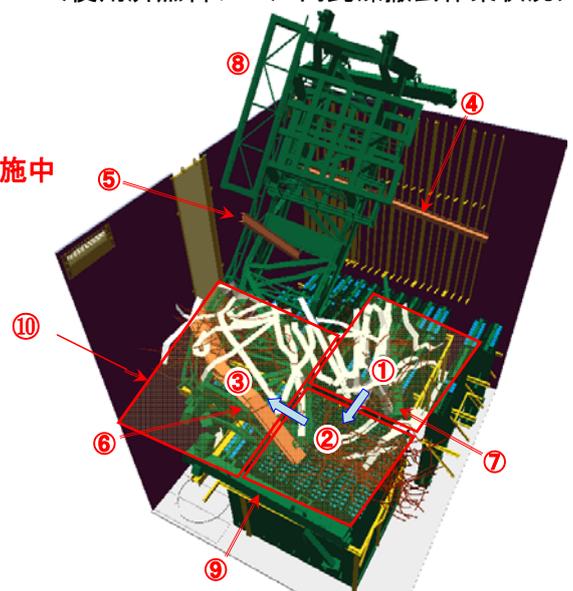
3. FHMの撤去（⑧）



4. FHM西側エンドトラックの撤去（⑨）



5. キャスクエリアの瓦礫撤去（⑩）



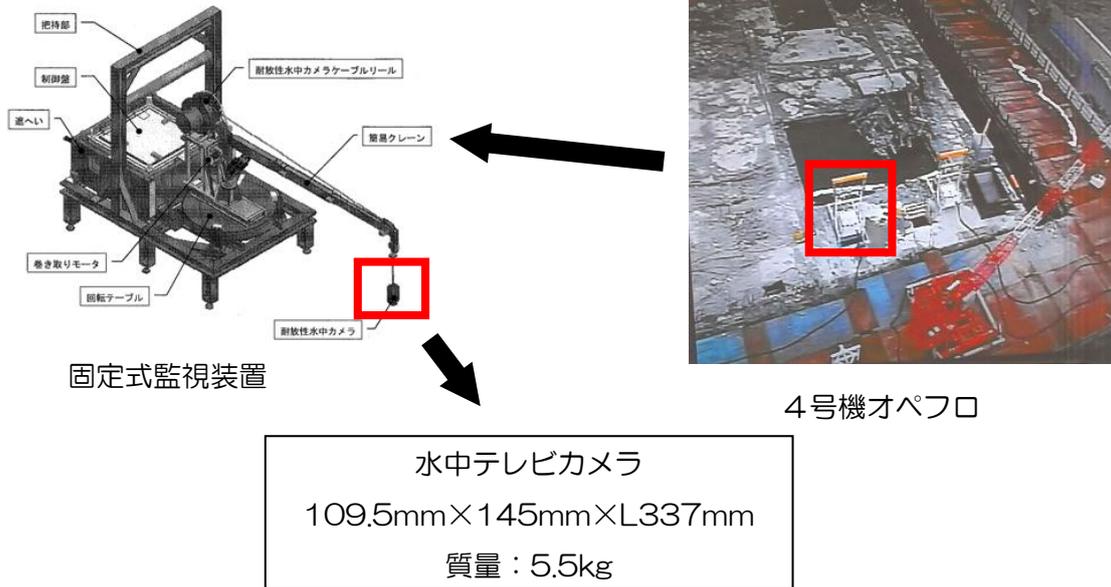
無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

2

参考. 3号機大型瓦礫撤去準備作業中の固定式監視装置水中カメラの落下について

【経緯】

平成25年11月28日、3号機大型瓦礫撤去準備作業において、使用済燃料プールに設置したオイルフェンスの設置状態を既に設置済みの固定式監視装置（2台11/26,27で設置済み）の水中カメラで確認した後、収納作業を行っていた。この際、南西側のカメラケーブルが切れカメラ本体が水中に落下した。

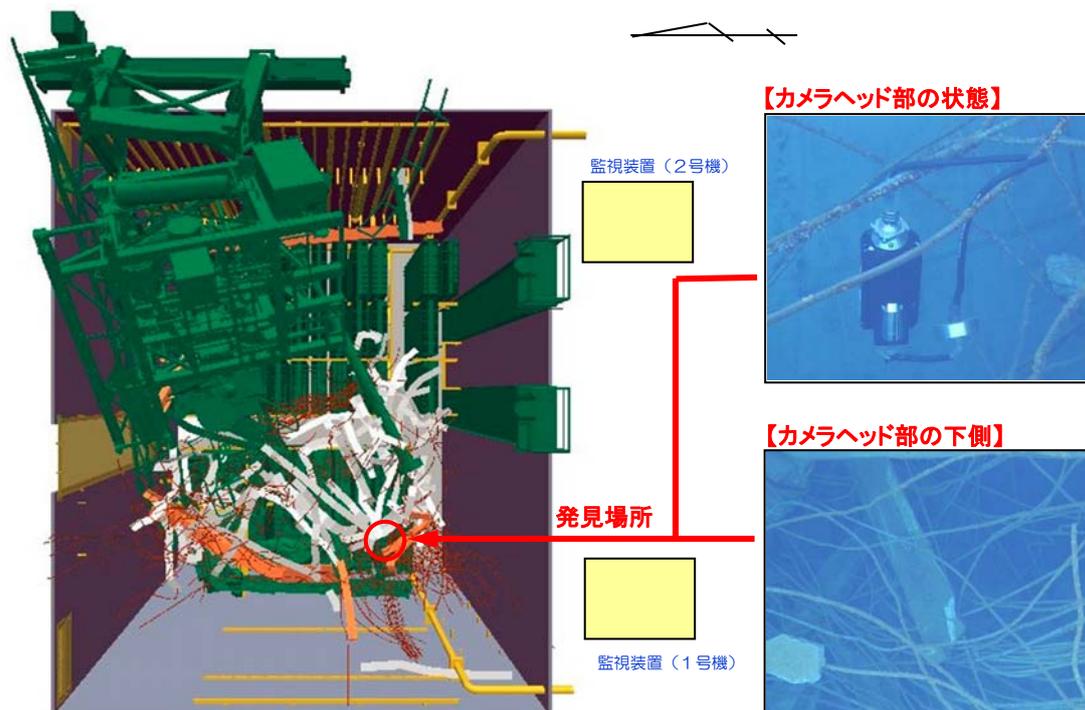


参考. 3号機大型瓦礫撤去準備作業中の固定式監視装置水中カメラの落下について

【調査結果】

①SFP内水中カメラ調査結果

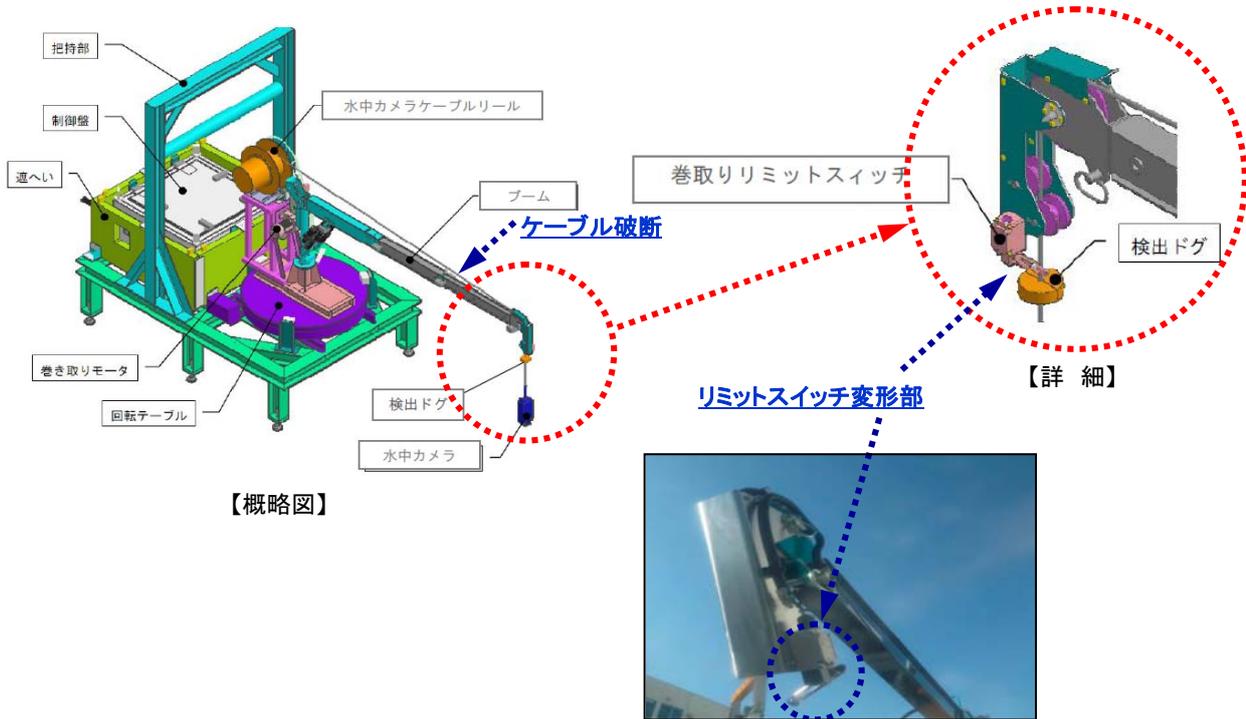
水中カメラにてプール内を確認したところ、南西側の鉄筋瓦礫にカメラヘッド部が引っかかった状態にあり、且つ、下側には多数の瓦礫が堆積していることを確認した。



【調査結果】

②固定式監視装置1号機調査結果

水中カメラケーブルが破断し、更に、リミットスイッチ部が変形していた。このことから、検出ドグがリミットスイッチより上方まで引き込まれていたと推察される。



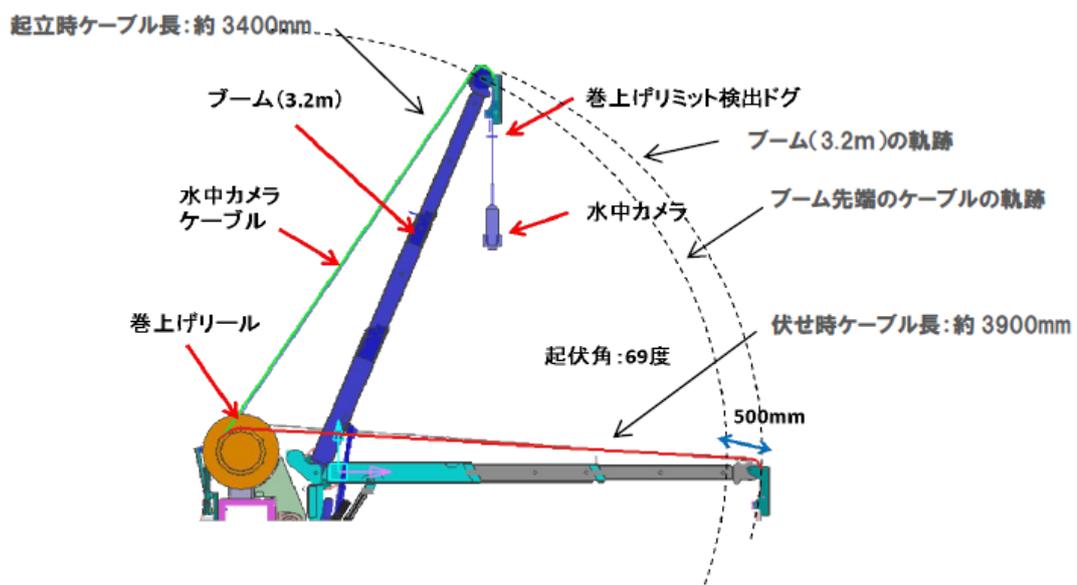
【概略図】

【詳細】

【原因】

ブームを起こした状態で、水中カメラをリミットスイッチが作動するまで巻取り、カメラケーブルが張った状態でブームの起伏動作を行ったことにより、更にケーブルが引張られ、検出ドグがリミットスイッチを超えてブーム先端に押し付けられた状態となり、ケーブルが破断したものと推定される。

また、本装置のインターロックは、水中テレビカメラの巻取りリミットスイッチが作動した状態でもブームの起伏動作が可能なものであった。



【再発防止対策】

- ①リミットスイッチ動作時は、起伏動作ができないようソフトを変更。
- ②リミット作動時にリモート室に警報を鳴らす機能を追加。

【今後の対応】

- ①当該固定式監視装置（1号機）を当面使用予定のない固定式監視装置（3号機：ソフト変更済のもの）に交換（実施済み）。
- ②落下した水中カメラヘッド部については、瓦礫撤去作業が開始された後、鉄筋瓦礫と合わせて回収・撤去する。

【他装置への水平展開】

固定式監視装置（2号機）

オペフロに設置済みの固定式監視装置（2号機）のソフト変更（実施済み）。